

課題名	当院におけるロボット支援/腹腔鏡下仙骨腫固定術の検討
承認番号	2021-17 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 泌尿器科 氏名 高梨 将人
研究期間	(西暦) 2024 年 10 月 ～ (西暦) 2026 年 3 月頃
研究の意義・目的	当院におけるロボット支援下/腹腔鏡下仙骨腫固定術式の小工夫について、その効果や有用性を明らかにし、検討結果の学会発表や論文作成を通じてその効能を世に広く普及することが目的です。
研究の方法 (対象期間含む)	2022 年 1 月から 2024 年 8 月までにロボット支援下/腹腔鏡下仙骨腫固定術を施行された女性患者を対象に診療録（カルテ）調査を行い、術後の骨盤臓器脱再発状況や尿失禁の発症状況・程度などについて検討します。 また、それに伴った患者背景として身長、体重、既往歴、内服薬、術前 POP-Q ステージ、術前・術後残尿量、手術時間などの項目も利用します。 本研究は既存の診療情報のみを対象とする研究であるため、研究対象者（患者さん）には経済的負担を含め、負担は発生しません。 また、同じ理由から研究対象者（患者さん）に健康被害が生じることはありません。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	本研究のための必要最低限な情報のみを診療録から使用します。 研究結果や用いられるデータには、個人を特定できるような情報は含まれません。（患者さんのお名前やカルテ番号など個人を特定できる情報は、本研究固有の記号に置き換えられます。）
利用又は提供する 試料・情報の項目	術後の骨盤臓器脱再発状況や尿失禁の発症状況・程度 身長、体重、既往歴、内服薬、術前 POP-Q ステージ、術前・術後残尿量、手術時間などのカルテデータ（個人を特定できる情報は含まれません）
試料・情報を 利用する者の範囲	2022 年 1 月から 2024 年 8 月までにロボット支援下/腹腔鏡下仙骨腫固定術を施行された女性患者
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	横浜市立みなと赤十字病院 泌尿器科 高梨 将人
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属：泌尿器科 氏名：高梨 将人 TEL:045-628-6100（代表）内線 3808（事務局）／FAX:045-628-6101